



InterSafe CATS Ver5.2.6 コンフリクト回避策

2026.6



- [Apex One](#)
- [ウイルスバスター ビジネスセキュリティ](#)
- [Symantec Endpoint Protection](#)
- [ノートン360スタンダード](#)
- [マカフィートータルプロテクション](#)
- [Windowsウィジェット](#)
- [Microsoft Teams](#)
- [Zoom](#)
- [Webex](#)
- [Microsoft 365 Apps for business](#)
- [OneDrive](#)

【事象】

ApexOneクライアントのスマートスキャン使用不可となる(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとApexOne同居時

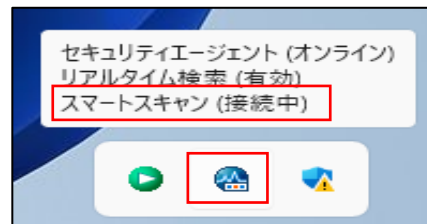
【回避策1】

以下カテゴリを許可設定にする
未分類URL(その他すべて)

【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ>許可カテゴリ」へ登録
<http://<サーバホスト名>:8080/ss/q/>

(図1)



【事象】

ウイルスバスター ビジネスセキュリティのスマートスキャンが使用不可(図1)

【発生条件】

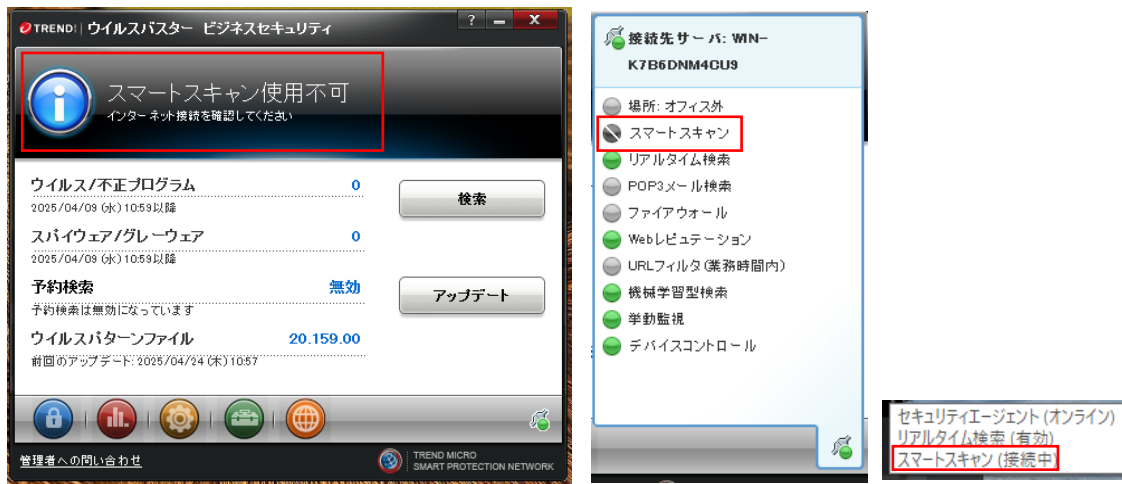
InterSafe CATSとウイルスバスター ビジネスセキュリティ同居時

【回避策】

以下ホストを「フィルタリングルール共通設定> HTTPSフィルタリング設定> 除外ホスト」へ登録

*.trendmicro.com

(図1)



【事象】

Symantec Endpoint Protectionを起動時、証明書不正警告ダイアログが表示されポリシーのダウンロードに失敗する(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとSymantec Endpoint Protection同居時

【回避策1】

HTTPS証明書警告に記載されているSNIを「フィルタリングルール共通設定>HTTPSフィルタリング設定>除外ホスト」へ登録(図1)

xxxx-2l17ia6tsr1

(図1)

以下カテゴリを許可に設定する

未分類(その他全て)

【回避策2】

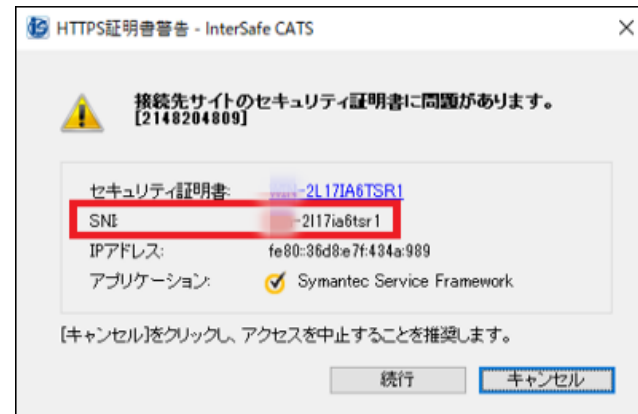
HTTPS証明書警告に記載されているSNIを「フィルタリングルール共通設定>HTTPSフィルタリング設定>除外ホスト」へ登録(図1)

xxxx-2l17ia6tsr1

例外URLの「許可カテゴリ>許可カテゴリへ」HTTPS証明書警告に

記載されているSNIを登録する

https://xxxx-2l17ia6tsr1/



日時	重大度	内容
2025/06/18 18:30:22	エラー	Symantec Endpoint Protection は管理サーバーから最新のポリシーをダウンロードできませんでした。
2025/06/18 18:30:08	エラー	Symantec Endpoint Protection は管理サーバーから最新のポリシーをダウンロードできませんでした。
2025/06/18 18:30:04	情報	Symantec Endpoint Protection Manager (xxxx-2L17IA6TSR1) を切断了しました

【事象1】

マイノートンのログインが行えない(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとノートン360スタンダード同居時

【回避策1】

以下カテゴリを許可に設定する

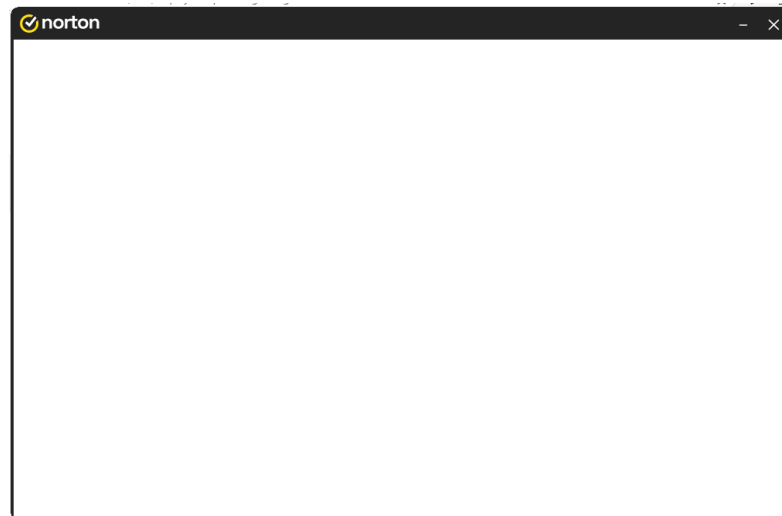
システムコンテンツ > CDNサーバ

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ > 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

<https://static.nortoncdn.com>

(図1)



【事象2】

ノートン360スタンダードのインストールが完了しない(図2)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

1. InterSafe CATS
2. ノートン360スタンダード

【回避策1】

以下カテゴリを許可に設定する

システムコンテンツ > CDNサーバ

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ > 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

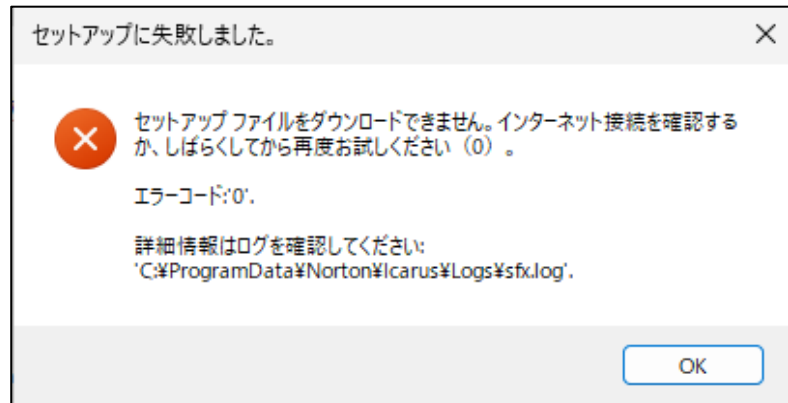
<https://honzik.avcdn.net/>

【回避策3】

フィルタリング無効アプリケーションに以下をファイル名で登録する

norton_360_online_setup
icarus

(図2)



【事象3】

HTTPS証明書警告が表示される(図3)

【発生条件】

InterSafe CATSとノートン360スタンダード同居時

【回避策1】

HTTPS証明書警告に表示されるIPアドレスをHTTPSデコードの除外ホストへ登録する

例) 192.168.61.1 ※登録値は変わる可能性があります

【回避策2】

フィルタリング無効アプリケーションに以下をファイル名で登録する

NortonSvc

(図3)



【事象4】

ライブアップデートが行えない(図4)

【発生条件】

InterSafe CATSとノートン360スタンダード同居時

【回避策1】

以下カテゴリを許可に設定する

システムコンテンツ > CDNサーバ

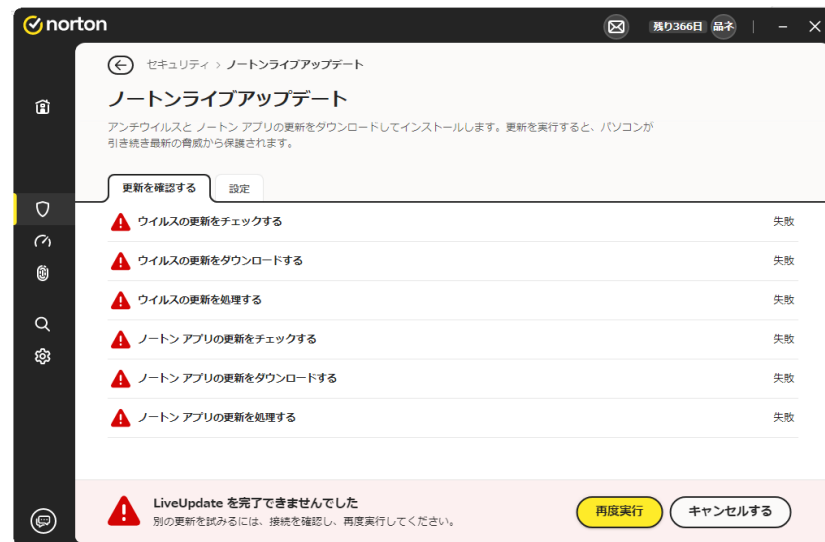
【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ > 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

<https://shepherd.avcdn.net/>

<https://honzik.avcdn.net/>

(図4)



【事象5】

VPN接続が行えない(図5)

【発生条件】

InterSafe CATSとノートン360スタンダード同居時

【回避策1】

以下カテゴリを許可に設定する

システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

<https://api.se-platform.com/>

(図5)



【事象】

VPN接続を有効にできない(図1)

【発生条件】

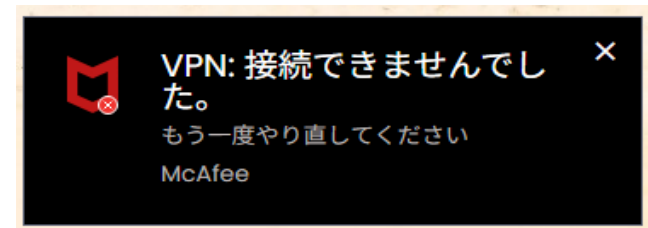
InterSafe CATSとマカフィートータルプロテクション同居時

【回避策】

フィルタリング無効アプリケーションに以下をファイル名で登録する

mc-vpn

(図1)



【事象1】

各ウィジェット内のサマリやニュース内容が表示されない(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとWindowsウィジェット同居時

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

システムコンテンツ> イメージサーバ

システムコンテンツ> CDNサーバ

システムコンテンツ> その他のコンテンツ

プロバイダ・ポータル・ホスティング> ポータルサイト

プロバイダ・ポータル・ホスティング> 検索

【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://msn.com/>

<https://microsoft.com/>

<https://img-s-microsoft-com.akamaized.net/>

<https://ecn.dev.virtualearth.net/>

<https://cxcs.microsoft.net/>

<https://www.bing.com/>

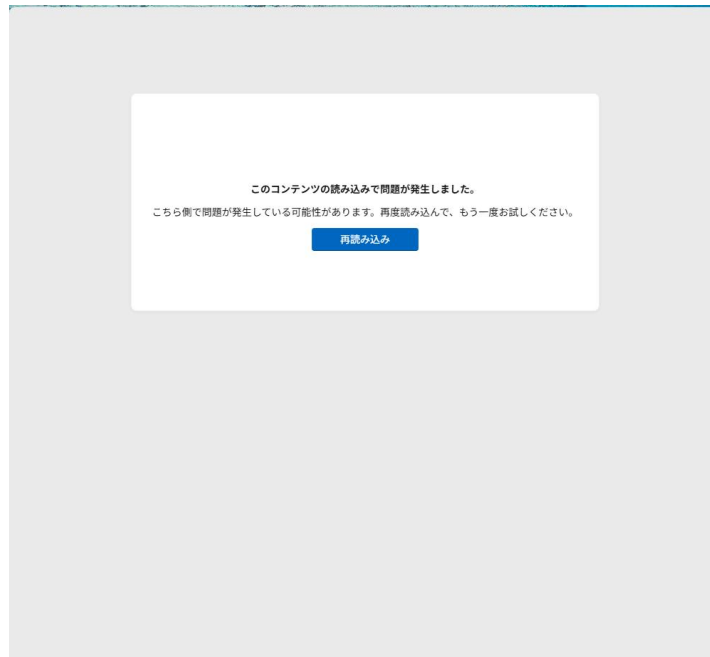
【回避策3】

以下アプリケーションを「フィルタリングルール共通設定>

フィルタリング無効アプリケーション設定> 無効アプリケーション」へ登録

[msedgewebview2](#)

(図1)



【事象2】

「その他のウィジェットを検索する」をタップしMicrosoft Storeアプリを起動するとエラーとなる(図2)

【発生条件】

InterSafe CATSとWindowsウィジェット同居時

【手順】

1. [Windows]キー+[W]キーでウィジェットボードを表示する
2. ウィジェットを追加の[+]キーをタップする
3. 「その他のウィジェットを検索する」をタップする

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

システムコンテンツ> イメージサーバ

システムコンテンツ> CDNサーバ

システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ

趣味と娯楽> ゲーム

プロバイダ・ポータル・ホスティング> ポータルサイト

プロバイダ・ポータル・ホスティング> 検索

【回避策2】

次ページに続く

(図2)



【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ>許可カテゴリ」へ登録

https://*.msn.com/

https://*.microsoft.com/

<https://img-s-msn-com.akamaized.net/>

<https://ecn.dev.virtualearth.net/>

<https://store-images.s-microsoft.com/>

https://*.xboxlive.com/

<https://cxcs.microsoft.net/>

<https://www.bing.com/>

【事象3】

Microsoft Storeアプリにて、一部アプリのインストールでエラーとなる(図3)

【発生条件】

InterSafe CATSとWindowsウィジェット同居時

【手順】

- 1.[Windows]キー+[W]キーでウィジェットボードを表示する
- 2.ウィジェットを追加の[+]キーをタップする
- 3.「その他のウィジェットを検索する」をタップする
- 4.Microsoft Storeが起動するので任意のアプリをインストールする
※LINEやZoom Workplace、Adobe等のインストールでエラーとなる

【回避策】

HTTPSデコード除外ホストに以下を登録する
storeedgefd.dsx.mp.microsoft.com

(図3)



【事象1】

Teamsへのサインインに失敗する(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとTeams同居時

【回避策1】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ>許可カテゴリ」へ登録

<https://odc.officeapps.live.com/>

<https://logincdn.msauth.net/>

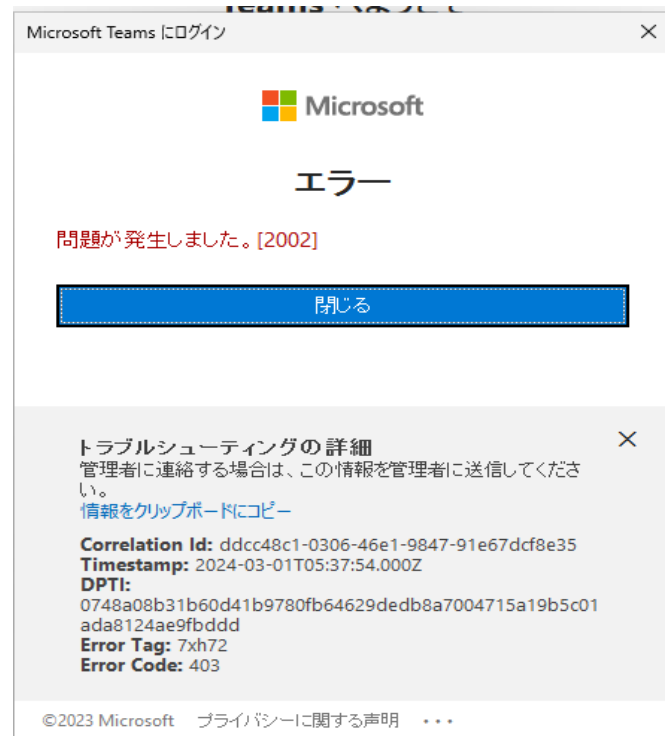
【回避策2】

以下カテゴリを許可する

システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ

システムコンテンツ> CDNサーバ

(図1)



【事象2】

Microsoft Teamsアプリを起動するとエラーが表示される(図2)

【発生条件】

InterSafe CATSとTeams同居時

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ

【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://statics.teams.cdn.live.net/>

(図2)



【事象1】

Zoomが接続中の状態のままとなり、連絡先の追加やメッセージ送信が行えない(図1)

※通話は可能

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

1. Zoom
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下ホストを「フィルタリングルール共通設定>HTTPSフィルタリング設定>HTTPSデコード設定>除外ホスト」へ登録する

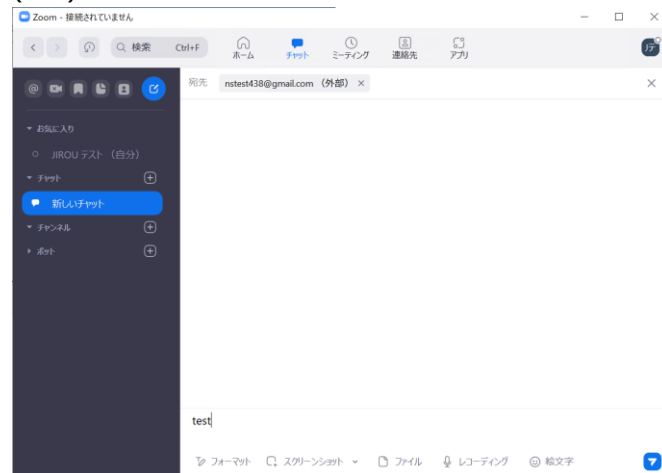
*.zoom.us

【回避策2】

以下アプリケーションを「フィルタリングルール共通設定>フィルタリング無効アプリケーション設定>無効アプリケーション」へ登録

Zoom

(図1)



【事象1】

Webexへのサインインが行えない(図1)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Webex
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

「システムコンテンツ」>「その他のシステムコンテンツ」

【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ」>「許可カテゴリ」へ登録

https://*.wbx2.com/

(図1)



【事象2】

「Webexサービスにアクセスできません」と表示される(図2)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Webex
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

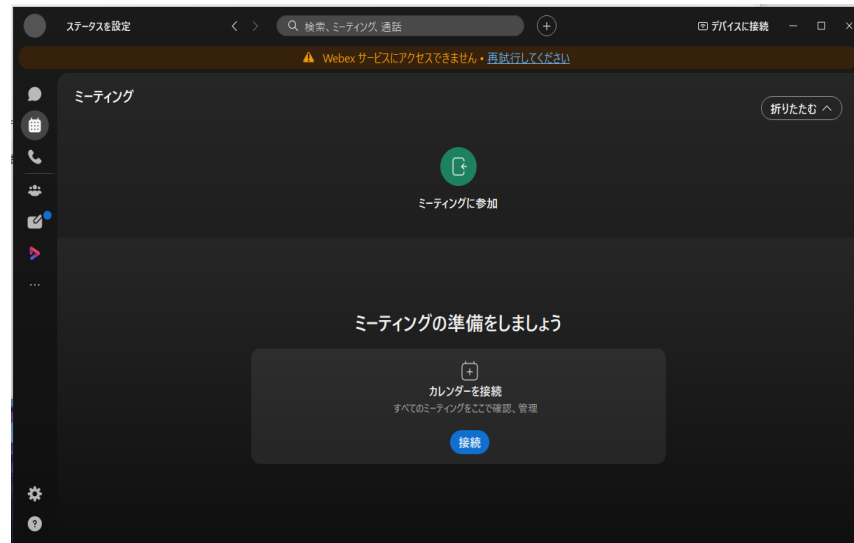
「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.wbx2.com/

(図2)



【事象3】

Webexにて個別ユーザにメッセージ送信が行えない(図3)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Webex
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

[システムコンテンツ](#)>[その他のシステムコンテンツ](#)

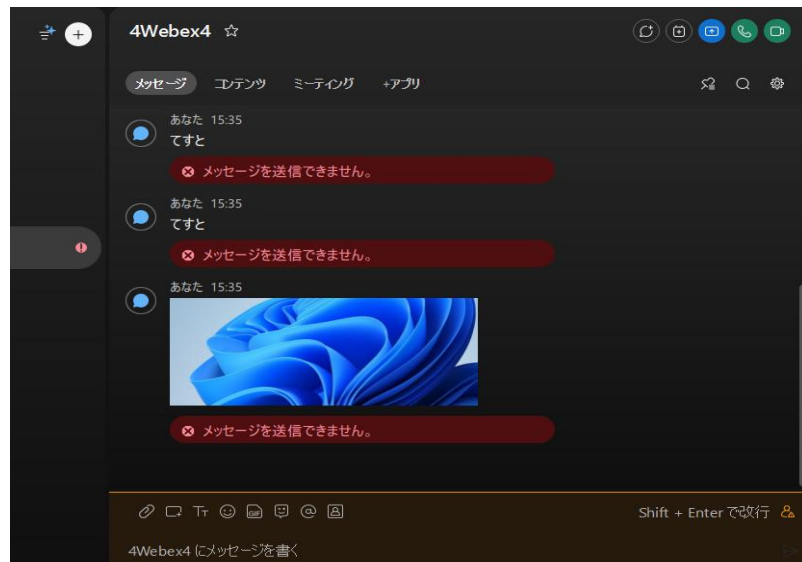
【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ>許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.wbx2.com/

<https://files-prod-us-east-2.webexcontent.com/>

(図3)



【事象4】

Webexにて対象ユーザを個別スペースに追加できない(図4)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Webex
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

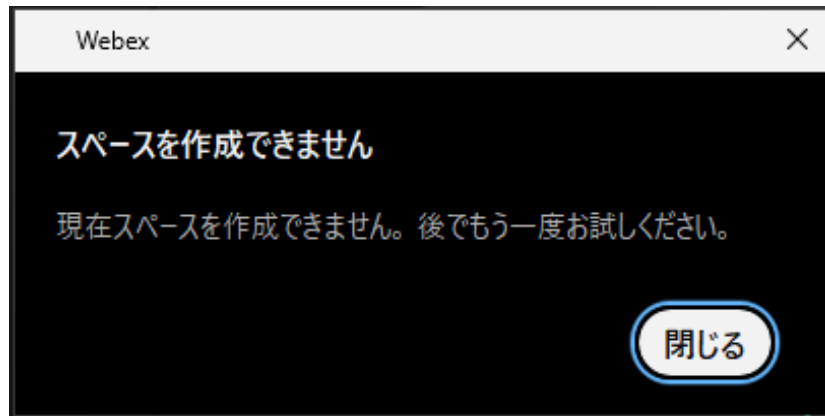
システムコンテンツ > その他のシステムコンテンツ

【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ > 許可カテゴリ」へ登録

https://*.wbx2.com/

(図4)



【事象5】

Webexにてミーティングや個別ユーザとの音声通話/ビデオ通話/コンテンツを共有の開始が行えない(図5)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Webex
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下のカテゴリを許可に設定する

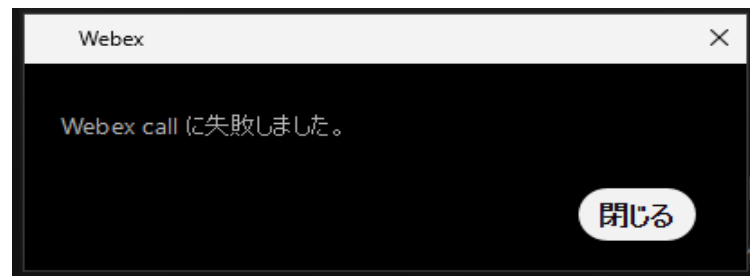
システムコンテンツ > その他のシステムコンテンツ

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ > 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.wbx2.com/

(図5)



【事象6】

Webexにてスケジュールの作成が行えない(図6)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Webex
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下のカテゴリを許可に設定する

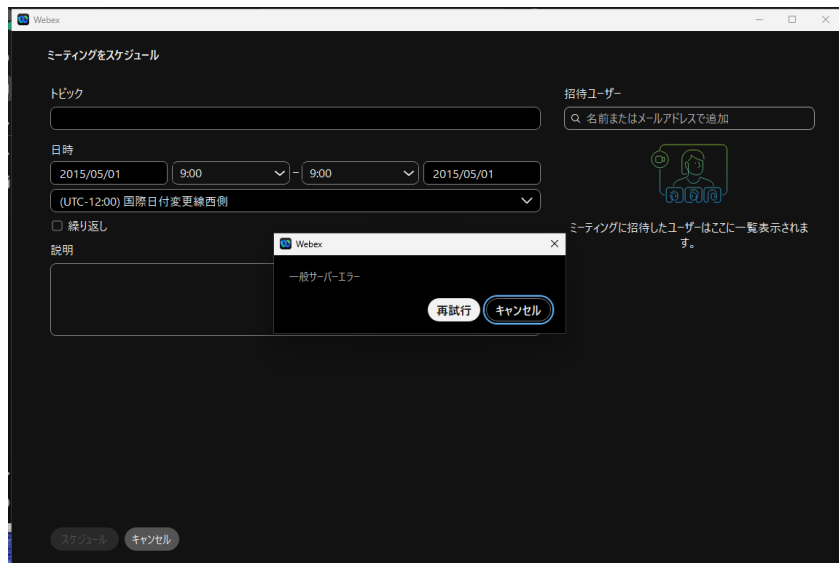
[システムコンテンツ](#) > [その他のシステムコンテンツ](#)

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ > 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.wbx2.com/

(図6)



【事象1】

Microsoft365へのサインイン不可(図1)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Microsoft 365 Apps for business
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ
システムコンテンツ> CDNサーバ

【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://odc.officeapps.live.com/>

<https://autodiscover-s.outlook.com/>

<https://aadcdn.msauth.net/> ※組織アカウントの場合に必要

<https://aadcdn.msftauth.net/> ※組織アカウントの場合に必要

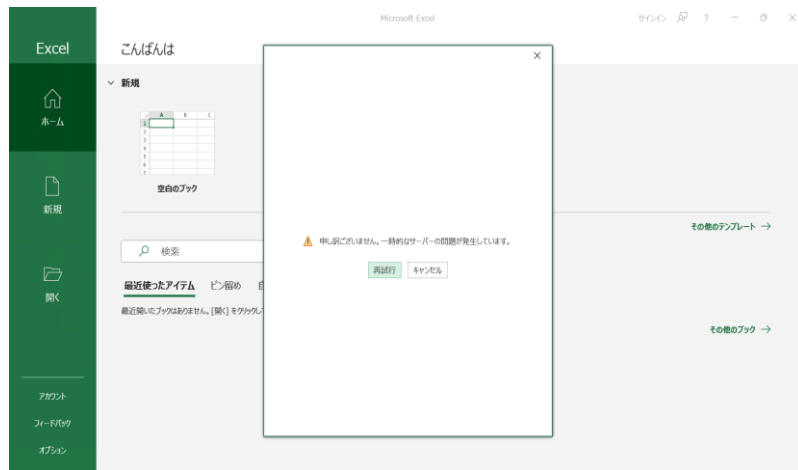
<https://aadcdn.msftauthimages.net/> ※パスワード入力画面のロゴ表示に必要

<https://logincdn.msauth.net/> ※個人アカウントの場合に必要

<https://logincdn.msftauth.net/> ※個人アカウントの場合に必要

http://*.onmicrosoft.com/

(図1)



【事象2】

Microsoft365の一部機能が制限される場合がある(図2)
(ライセンスのない製品と表示される)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Microsoft 365 Apps for business
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

[システムコンテンツ](#)>[その他のシステムコンテンツ](#)

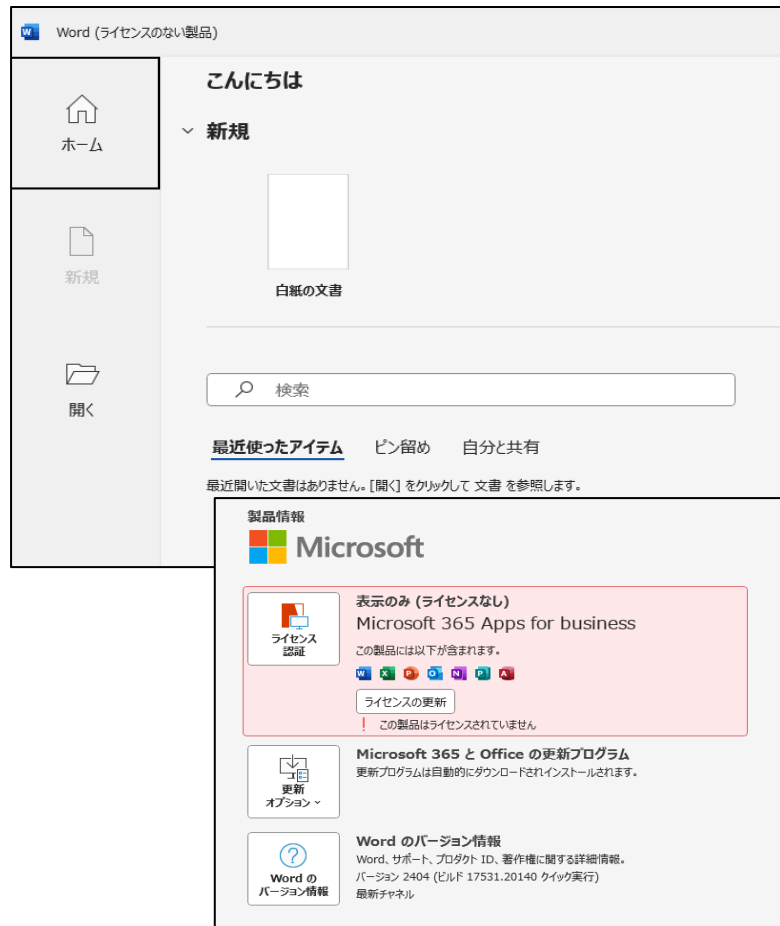
【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ>許可カテゴリ」へ登録

<https://odc.officeapps.live.com/>

<https://ols.officeapps.live.com/>

(図2)



【事象3】

ファイルの保存先にOneDriveを追加してサインイン、保存が行えない(図3)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

1. Microsoft 365 Apps for business
2. InterSafe CATS

【手順】

1. Microsoft365へサインインする
2. 新規作成する
3. 「ファイル」タブ>「名前を付けて保存」>「場所の追加」>OneDriveを選択する

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ
システムコンテンツ> CDNサーバ

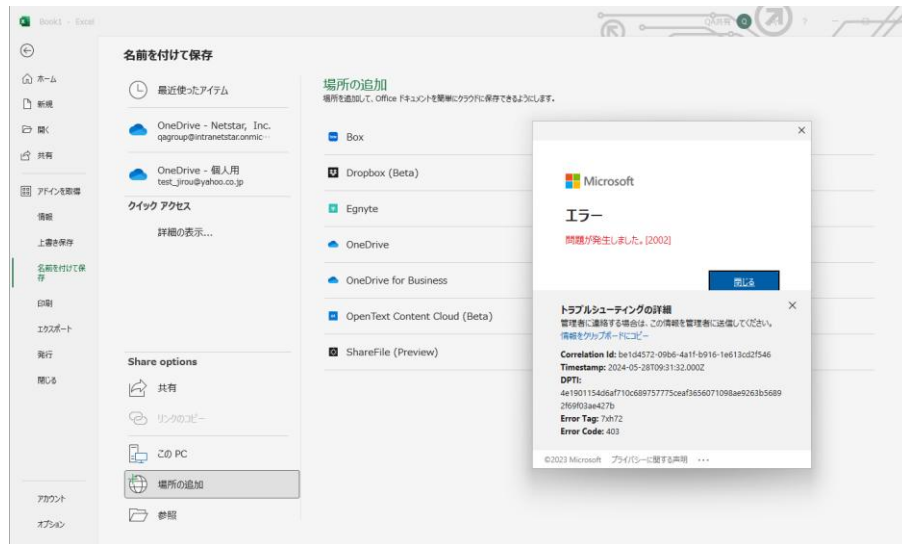
※OneDrive for Businessの場合、以下カテゴリも許可と設定する

プロバイダ・ポータル・ホスティング > ホスティング
システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ

【回避策2】

次ページに続く

(図3)



【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://odc.officeapps.live.com/>

<https://logincdn.msauth.net/>

<https://logincdn.msftauth.net/>

<https://graph.microsoft.com/>

※OneDrive for Businessの場合、以下URLを登録する

<https://odc.officeapps.live.com/>

https://*.sharepoint.com/

<https://graph.microsoft.com/>

【事象】

OneDriveへのサインイン/同期設定に失敗する(図1)

【発生条件】

以下の順序でインストールした場合

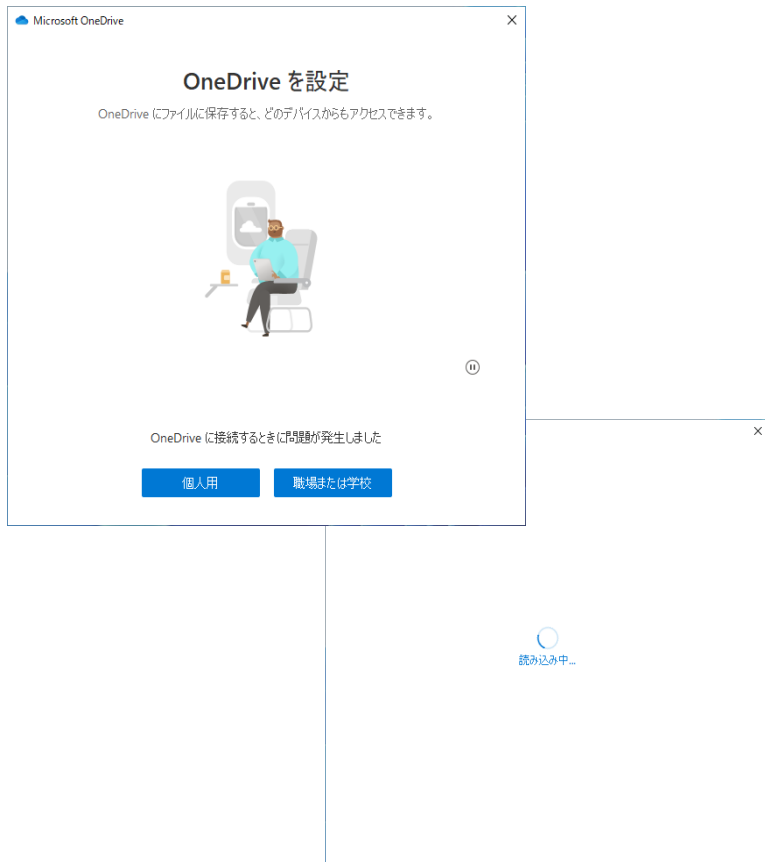
1. Microsoft OneDrive
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可に設定する

- ・ 個人アカウントの場合
 - システムコンテンツ > CDNサーバ
 - システムコンテンツ > その他のシステムコンテンツ
- ・ 組織アカウントの場合
 - システムコンテンツ > CDNサーバ
 - システムコンテンツ > その他のシステムコンテンツ
 - プロバイダ・ポータル・ホスティング > ホスティング

(図1)



【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

- ・ 個人アカウントの場合

<https://go.microsoft.com/>
<https://odc.officeapps.live.com/>
<https://skydrivesync.policies.live.net/>
<https://officeclient.microsoft.com/>
<https://logincdn.msauth.net/>
<https://logincdn.msftauth.net/>
<https://my.microsoftpersonalcontent.com/>

- ・ 組織アカウントの場合

<https://go.microsoft.com/>
<https://odc.officeapps.live.com/>
<https://officeclient.microsoft.com/>
<https://login.windows.net/>
<https://aadcdn.msftauth.net/>
<https://aadcdn.msauth.net/>
<https://aadcdn.msftauthimages.net/>
https://*.sharepoint.com/

【回避策3】

フィルタリング無効アプリケーションに以下をファイル名で登録する

- ・ 個人アカウントの場合

OneDrive

- ・ 組織アカウントの場合

OneDrive

msedgewebview2



もっと豊かな情報未来へ
アルシー・ソリューション

www.alsi.co.jp

